

未使用食品、子ども食堂に 美濃加茂市とバローHDが協定

5店舗にフードポスト

美濃加茂市とバローホールディングス（HD）は16日、地域活性化や市民サー

ビス向上を図る包括連携協



フードドライブポスト設置式でテープカットをする藤井浩人市長(右端)と小池孝幸社長(左端)子ども食堂代表者ら＝美濃加茂市山手町、バロー美濃加茂店

定を結び、協定に基づく取り組みとしてスーパーマーケットのバローとVドラッグの市内5店舗にフードドライブポストを設置した。家庭で使い切れなかった食材を募り、市内の子ども食堂9団体に活用される。

バローHDは岐阜と愛知、石川、富山の4県の自治体と同様の協定を順次締結しており、美濃加茂市で20例目。県内では12例目となる。

ポストに寄せることができるのは、缶詰やレトルト、インスタント食品、乾麺、米、菓子、アルコール以外の飲料。常温保存できる未開封で賞味期限まで1ヵ月以上あるもの。

バロー美濃加茂店(同市山手町)で協定の締結式とポストの設置式が行われた。小池孝幸社長は「設置して終わりではなく子ども食堂の団体に届くようにしっかりアピールする」と話し、藤井浩人市長は「フードロスをなくして必要な人に届け、子ども食堂につなげる事業にしていこう」と述べた。市社会福祉協議会の海老和允会長や子ども食堂の代表者らも出席し、テープカットを行った。(土屋健一)